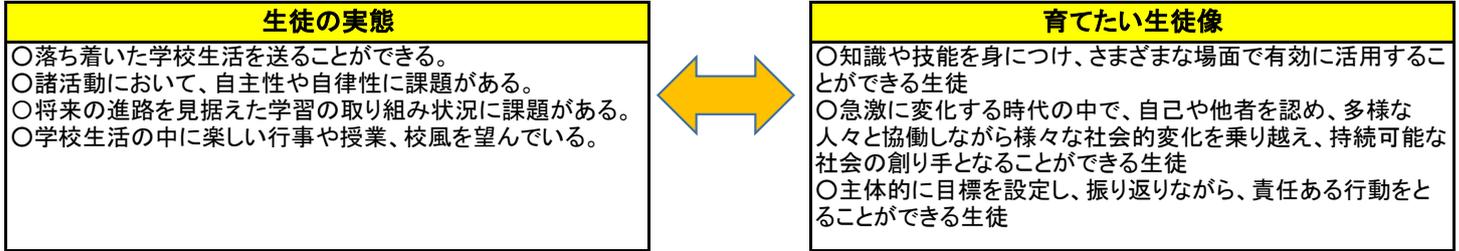


学校教育目標と令和7年度の重点目標（林野高校グランドデザイン）

学校教育目標	校訓「すべては光る個性の輝き」 ・知性と教養を身につけ、豊かな心と健全な身体で、自立の精神を有し、個性を生かした地域や社会に貢献できる人材の育成を図る。 ・論理的な思考力、創造力、課題発見、解決能力を持った自立型人材を育成する。 ・自主的な社会参加を通じて、対人関係能力や望ましい人としての生き方を体得させる。
令和7年度重点目標	『通いたい、通わせたい学校であるために』 ○個別最適な授業や探究的な学びによる、資質・能力の育成 一人ひとりの特性を生かし、可能性を最大限に引き出す教育活動を推進します。 ○主体性・協働性・創造性の育成 生徒が自ら考え、他者と協力し、新たな価値を生み出す力を育みます。 ○異校種交流、地域連携、国際交流等を通じた豊かな人間性の育成 多様な立場や考え方を理解し、尊重するとともに、社会に貢献しようとする姿勢を育みます。 ○情報教育の推進とDXを軸とした効果的・効率的な教育環境の確立 Society5.0を生き抜く力を育成するとともに、時代に適応した柔軟で最適な働き方を実践します。



豊かな人間性

- 特別活動の充実
- 体験的活動の充実
- 社会貢献活動の充実
- グローバル教育の充実

健康・安全

- 健康教育の充実
- 防災教育の充実
- 体育・スポーツ体験の充実

資質・能力

主体的に学び続ける力
地域や社会の課題を発見し、解決しようとする力
自己や他者を理解し、多様な他者と協働する力

学校生活の基本(何が出来るようになるか)

- 知識や技能を活用することができる。
- 学び続ける意欲を持つことができる。
- 課題を発見し、解決することができる。
- 多様な価値を認めることができる。
- 多様な他者と協働する態度を示すことができる。
- 見通しを立てて行動することができる。

学習評価を通じた学習指導の改善(何が身についたか)

- 多様なスキルを使った評価の実施
- ・学びの振り返りによる自己評価と自己調整
- ・生徒相互による評価
- ・テストを活用した知識・技能の定着と思考力・判断力・表現力の評価
- ・学びの軌跡や成果物、パフォーマンスによる評価
- 評価による指導改善の具体化と実行
- 成績会議や認定会議の活用

教育課程の編成(何を学ぶか)

- 教育課程や授業、総合的な探究の時間、特別活動の計画的実施
- ・「知識・技能」「思考力・表現力・判断力」「学びに向かう力」の三つの観点
- ・教科・科目間の関連
- ・グローバルな視点を入れた教育課程
- ・個々の自己実現に向けた個別最適な教育課程

教育課程の実施(どのように学ぶか)

- 生徒の思考力・判断力・表現力を育む活動の展開
- ・様々な場面で思考を促す活動
- ・他人の意見や考えに触れる活動
- ・考えをまとめたり、表現したりする活動
- 学び方の自己決定
- 個に応じた学びの支援

**実施するためには何が必要か
(指導体制の充実、環境整備、家庭や地域との連携・協力、開かれた学校)**

- 指導方針に対する教職員の共通理解
- 地域(美作市など)や保護者との連携・協力
- 大学や研究機関、卒業生等との連携・協力
- 心まで届く、WEBやICT等を通じた情報発信の質と精度の向上

**生徒をどのように支援するか
(どのような配慮が必要か)**

- 自ら考え行動する過程において、失敗も成長の糧として支援する姿勢
- 面接や組織的な相談体制による、きめ細やかな生徒対応
- 既存会議での情報共有と、密に行う組織内「報・連・相」